

海外の浄土真宗事情

第5回 ハワイ開教の歩みと現状 その二 ～師に会い、友に会い、法に会う～

今回は引き続き終戦の一九四五（昭和二十）年から現在までの真宗の歩みと現状を記します。

ハワイ日系人の価値観

第二次世界大戦中にハワイの二世部隊がフランスやイタリアの戦線で大活躍をし、地域社会では日系人全体が米国に忠誠を尽くし、勤勉で穏健な人たちであることが認められました。その元二世兵士たちは、その後政界、経済界、法曹界、工業界で指導者としての頭角を現し始め、責任、頑張り、名誉、孝行、恥などの徳目は、やがて日系人の価値観として注目され始めました。

その要因は何でしょうか。仏教の場合には慈悲の精神、それに儒教的な考えも大きな要素でした。一般的にはキリスト教の愛、民主主義の説く平等と自由、アロハの心（共生の精神）などが日系人の価値観の要因です。ハワイがアメリカで一番幸福度が高いのは、東洋から来た精神文化が西洋の文化と溶け合って、ハワイ

の州民の生き方に影響を与えたからです。

寺院活動の組織化

終戦（昭和二十年）になると、開教使の多くが米大陸の抑留所から帰り、日曜礼拝、六大法要、サンデースクール活動、婦人会活動、それに日本語学校が始まりました。その僧俗の喜びは一九五二（昭和二十七）年春にハワイを巡回された当時の大谷光照、嬉子ご門主様ご夫妻が、各島の寺院・仏教会を訪問され、信徒と親しく接しられた時に一気に高まりました。二十二か寺の帰敬式では七千五百人以上が法名を頂きました。

主にお寺の活動を支えたのは婦人会でした。当時はまだ日本語の会員が多く、お寺で聴聞し、家庭で子どもを育て、報謝として地域社会に尽くすという仏教婦人の運動は地区の連合、州の連盟の組織に広がりました。のちに出来る「プロジェクトダーナ」の運動は、布施の精神で高齢者を中心にさまざまな方々を支援

情報コーナー



1962（昭和37）年 スカウトと日校の仏教賞授与式 於 ワイルク本願寺

する非営利団体によるものです。その創設者は二人の婦人会員であり、お寺で育った二世と三世です。

生きた英語による真宗の聞法

日曜学校、Y B A、ボーイスカウトなどの青少年仏教教育ではカリキュラムや

教材が作成され、指導者が生れました。アメリカでの英語伝道は四諦八正道が中心でした。道徳的な求道では不十分で、人生の意味を問い、その答えを本願の他力救済に見つけることを、どうすれば二世や三世と分かち合うことが出来るかが開教総長や開教使から問われ始めました。その対策として一九七二（昭和四十七）年にハワイ大学マノアキャンパス近くに仏教センター（BSC）が設立され青年、成人の仏教教育が再検討されました。

一九七四（昭和四十九）年その学事駐在として、本派の教師資格があり、米大陸の大学で仏教を教える方に依頼しました。その方はハワイ大学で一学期浄土教を教え、BSCで学生を指導、週



2014（平成26）年度 仏教研究所（BSC）サマーセッション

に一度『歎異抄』の英訳を使って成人真宗講座を担当されました。この真宗講座の延長として、週末に信徒と開教使が

海外の浄土真宗事情



2015（平成27）年度 パシフィック・ブディスト・アカデミー高校（PBA）卒業式

町を離れて田舎のお寺やキャンプ場で一緒に寝泊まりして、一緒に聞法もんぽうをする方法が出来ました。

この方法は、講師に真宗の信への道を英語で明瞭に語ってもらい、参加者が自分の問いを投げかけ、話し合うというものです。そこに自然と「師」を仰あおぎ、聞

法の仲間を「友」としてあげ、法に救われてゆく喜びがわくようになりました。蓮如上人れんにょしょうにんの採られた「平座」の聴聞の形です。大切なのは教えを説く僧侶―開教使が信徒さんと一緒に座って、本願を仰ぎ、念仏することです。これからこの対話形式はアメリカでは必要です。

世界はどこでも苦難の時代に入りました。そのもとは我執がしゅうです。お寺ではまず僧侶がそれを認識し、その解決の道を「法」に求めねばなりません。それには「師」が必要です。その師の説かれた法を学び、聞き、語り合う「友」の輪を広げましょう。

民族と文化の多様化

今のハワイの社会は、民族的にも文化

的にも多様化しています。いわゆる日系人社会は小さくなってきており、ハワイ本願寺の門信徒数は減少しています。そこで人間は誰でも阿弥陀仏の智慧ちえと慈悲に救われるというビジョンが必要です。このためハワイ本願寺本部では各種の委員会が設けられ、僧俗が共に研究し行動しています。

そのビジョンを基に、二〇〇三（平成十五）年に全米で初めての仏教系の高等学校「パシフィック ブディスト アカデミー（PBA）」が設立されました。進学校として生徒を募集し、「平和」を目指す青年を育てるのが建学の精神です。十五年前に始まった新校舎建設の基金募集には日本からも本山をはじめ、仏教婦人会総連盟、龍谷総合学園、各教区や寺院、個人の皆様にご支援いただきました。まだ小規模ですが、龍谷総合学園の一員として日本の青少年と交流を盛んにし、この度の宗門総合振興計画に参画することが期待されています。

（ハワイ別院前輪番 宗藤達雄）